
国内トップランナー基準に対応した三相誘導電動機
「プレミアム効率シリーズ」発売開始のお知らせ

東芝三菱電機産業システム株式会社(TMEiC)(社長:町田 精孝)は、三相誘導電動機「TM21シリーズ」において、2015年4月より開始されるトップランナー基準に対応した「プレミアム効率シリーズ」を発売しましたのでお知らせします。

TMEiCは最新の高効率化技術を応用して電動機の軽量化と最適設計を図り、エネルギー損失を約35%低減(当社標準効率機:IE1比)した次期高効率電動機(トップランナーモータ)として「プレミアム効率シリーズ」をいち早く発売開始しました。

本シリーズは従来の標準効率機と据付寸法の互換性があり、ユーザーに必要なデータ(特性、外形寸法など)を先行して提供することにより、既設機の更新を含む設備計画をスムーズにサポートすることが出来ます。

TMEiCは環境に対する配慮を早くから取り込み、国際規格で定められたプレミアム効率(IE3)に適合した電動機を2010年から販売しており、今回その技術を発展させた「プレミアム効率シリーズ」を開発しました。

現在、地球温暖化防止の動きを背景に、CO₂の発生抑制のためエネルギー使用量の抑制・削減が求められています。その中でも、世界の総消費電力量の40~50%を占めるとされている電動機については、世界各国で高効率法規制化が開始または計画されています。

日本国内において、電動機の普及台数は約1億台とされており、それらによる年間の消費電力量は、国内全体の消費電力量の約55%、産業用電動機による年間の消費電力量は、産業部門の消費電力量の約75%を占めると推計されています。

日本国内で使用されている電動機の97%が標準効率(IE1)レベルの現状に対して、この度、2015年4月からトップランナー基準が導入され、電動機のエネルギー消費効率がプレミアム効率(IE3)レベルに引上げられます。これにより、国内の電動機の消費電力量が削減され、極めて大きな省エネ効果が期待されています。

TMEiCは最新の開発・技術力を適用して、省エネ効果の期待をいち早く実現し、今回の据付寸法の互換性を有する「プレミアム効率シリーズ」を発売しました。これによりユーザーの省エネ、環境対策に大きく貢献できる製品を提供します。

今後もTMEiCは国内および海外の効率法規制強化に対応した製品開発を積極的に進め、「TM21シリーズ」における「プレミアム効率シリーズ」の普及を進めると共に、ユーザーの省エネ・環境対策への支援を図ります。

プレミアム効率シリーズ電動機概要

| | |
|------|----------------------------|
| 製品名 | TM21-F II プレミアム効率シリーズ |
| 規格 | JIS C 4213、JIS C 4034-2-1 |
| 出力範囲 | 75kW～132kW(6極は55kW～110kW)※ |
| 極数 | 2・4・6極 |
| 電圧 | 600V以下 |
| 周波数 | 50Hz、60Hz |
| 枠番号 | 250、280 フレーム 脚取付横形※ |

※160kW～375kWの出力、及び立形は、順次発売予定です。

引用・参考文献：JEMAトッランナー資料



報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 事業開発・広報部

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4645 Fax: 03-3277-4578

TMEiC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。